

叙勲伝達 消防活動への尽力を評価 故松岡嗣男氏叙位・叙勲伝達式

北秋田市の元消防司令で2月に逝去された松岡嗣男さん(享年70歳・米内沢大町)がこのほど叙勲の瑞宝単光章を受章し、4月21日に市役所で伝達式が行われました。

松岡さんは、鷹巣阿仁広域市町村圏組合、北秋田市と37年8か月の長きに渡って消防吏員として勤務しました。平成16年からは豊かな消防知識と強い責任感のもと消防活動に尽力されました。

伝達式には長男である淳さんが出席し、津谷市長と長岐消防長立ち合いのもと、北秋田振興局の鶴田嘉裕局長から瑞宝単光章の位記・勲記の伝達を受けました。



人命救助 迅速な対応で人命救助 桜庭木材株式会社へ感謝状を贈呈

北秋田市消防本部では、迅速な人命救助と消火活動で被害を最小限に食い止めたとして、桜庭木材株式会社(後藤則明社長)に対して、4月21日に感謝状を贈りました。

この事案は、3月31日午後3時30分頃、同社工場隣接の畑で発生した原野火災において、身動きの取れなくなった高齢女性を、同社社員2人が救助しました。その後、同社自衛消防隊により、早期に延焼拡大を阻止し消防隊に引き継ぎました。

北秋田市消防本部では、この功績に感謝状贈呈式を行い感謝の意を表しました。

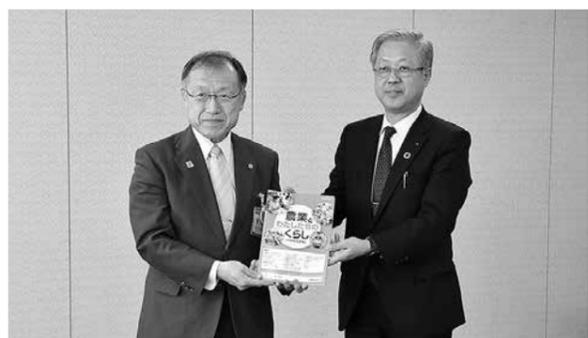


教材寄贈 小学生の学びに活用を JA秋田たかのすから食農教育補助教材の寄贈

秋田たかのす農業協同組合(斉藤一志組合長)から食農教育の補助教材の寄贈があり、その贈呈式が4月7日に市役所第二庁舎で行われ、佐藤教育長に補助教材が手渡されました。

寄贈された補助教材「農業とわたしたちの暮らし」は、小学生の授業で活用してもらうことを目的に、平成20年度から全国の小学校に配布されています。

この日、市役所を訪れた田村純一常務理事は「平成20年度から始めているJAバンクの食農教育応援事業で、教材本、DVDを持ってきたので、食農教育にお役立ていただきたい」と述べました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



移住定住 今後も移住定住活動を継続 米倉信人隊員地域おこし協力隊退任

北秋田市地域おこし協力隊として3年間活動した米倉信人隊員の退任式が、4月30日に市役所で行われました。

米倉隊員は平成29年5月1日より活動を開始し、移住イベントや移住体験ツアーの企画などに尽力しました。ほかにも「北秋田市移住定住ネットワークススム」を立ち上げ、移住定住の促進につなげ、「雑談カフェ」の企画・運営にも携わり、世代間交流や地域活性化へ貢献しました。

米倉隊員は「温かい住民や職員の皆さんと一緒に自由に活動させてもらい3年間務めることができた。今後も北秋田市の移住定住につながる活動を続けたい」と話しました。



感染予防 市民に役立てることを考え 地元企業からマスク2万枚の寄贈

株式会社フジモトと暁商工株式会社から市へマスク2万枚の寄贈があり、4月30日に両社の代表である藤本学社長が市役所を訪れ、津谷市長に目録を手渡しました。

これを受け津谷市長は「今、マスクを必要としている医療機関や保育園、介護施設等に配布したい。大切に使用させていただく」と感謝を述べました。

藤本社長は「市民の役に立てることがないか考えていたところ、藤本忠会長からマスクを確保できると提案があった。高齢者や子ども、妊婦さんなどに使ってほしい」と話しました。



要望提出 園児の命と健康を守るため 市内私立7保育園から要望書提出

市内私立7保育園の園長から代表5人が、4月16日に市役所を訪れ、新型コロナウイルス感染症対策強化を求める要望書を津谷市長へ提出しました。

要望書の内容としては「乳児施設は市内の園全体で統一した除菌態勢をとり、り患者を出さないことが必須」と訴え、次亜塩素酸水専用のミスト器やスプレー、詰め替え用キューブ、医療用マスク、ハンドソープ、プラスチックグローブなどの供給を求めました。

これを受け津谷市長は「市としてできることを把握し、十分に検討しながら対応したい」と話しました。



感染予防 市民のために有効活用 大館市の数田さんからアルコール消毒液の寄贈

大館市在住の数田学さん(54歳)が、4月15日に市役所を訪れ、アルコール消毒液を寄贈しました。

数田さんの妻が阿仁地区出身であり、長男も大阿仁小学校に通っていたことや、数田さん自身も県水泳連盟代議員、大館市水泳協会理事を務めている関係で、津谷市長とも交流があった縁もあり、北秋田市に協力できることはないかと考え、今回アルコール消毒液17リットル2缶の寄贈を行いました。

寄贈を受け津谷市長は「市内の福祉施設や学校等で有効に使わせていただきたい」と感謝を述べました。

